



超值附赠
日文三体习字帖
沪江学习卡

晨读夜诵 * 每天读一点 日语短文精华

提升日语能力 培养阅读习惯

选文短小 语言浅显 话题丰富 题材广泛

日汉对照 全书注音 文质兼美 愉快自学

编著◎聂中华

 华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

晨读夜诵 * 每天读一点 日语短文精华

提升日语能力 培养阅读习惯

选文短小 语言浅显 话题丰富 题材广泛
日汉对照 全书注音 文质兼美 愉快自学

编著◎聂中华

超值附赠


日文三体习字帖
沪江学习卡

 华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS

· 上海 ·

晨读夜诵·每天读一点 日语短文精华

编 著 聂中华

 华东理工大学出版社
EAST CHINA UNIVERSITY OF SCIENCE AND TECHNOLOGY PRESS
· 上海 ·

图书在版编目(CIP)数据

晨读夜诵·每天读一点日语短文精华 / 聂中华编著. — 上海:
华东理工大学出版社, 2015.8

ISBN 978-7-5628-4318-4

I. ①晨… II. ①聂… III. ①日语-阅读教学-自学参考资料
IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2015)第 141773 号

晨读夜诵·每天读一点日语短文精华

编 著 / 聂中华

责任编辑 / 金美玉

责任校对 / 张 扬

封面设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社

地 址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电 话: (021)64250306(营销部)

(021)64250875(编辑室)

传 真: (021)64252707

网 址: press.ecust.edu.cn

印 刷 / 江苏省句容市排印厂

开 本 / 890mm×1240mm 1/32

印 张 / 7.75

字 数 / 201 千字

版 次 / 2015 年 8 月第 1 版

印 次 / 2015 年 8 月第 1 次

书 号 / ISBN 978-7-5628-4318-4

定 价 / 26.80 元

联系我们: 电子邮箱 press_wy@ecust.edu.cn

官方微博 e.weibo.com/ecustpress

天猫旗舰店 <http://hdlgdxcbstmall.com>



前 言

《晨读夜诵·每天读一点日语短文精华》是一本旨在提高日语语言的领悟力和鉴赏力,掌握丰富多彩的表达方式,提高日语写作水平的阅读书。它还是陶冶情操,丰富内涵,提升文化品味的好读本。

本书优选 109 篇最有趣、最有用、最优美的短篇,适于诵读。全书日汉对照,日语地道规范,译文准确流畅,重点单词特别标注,在学习日语的同时,提高美学修养。

本书适用于初级以上日语水平的读者。

诵读本书,你既能得到审美的愉悦,提高日语语言的领悟力,又能学习日语写作技巧,掌握丰富多彩的表达方式,提高日语写作能力。同时,它还是道德修养、为人处世的好读本。通过阅读,能提升你的文化品味,了解人生百态、世事沧桑,帮你找到人生的坐标,助你走向理想与辉煌。

本书是 2015 年北京市教委实践教学项目的部分成果,北方工业大学日语系罗飞、阎月、徐丽娟、张易潇、郑苏敏翻译了大部分文章的初稿。在此,我谨向他们表示诚挚的谢意。

编 者

2015 年 6 月

目 录

第一章 开心一刻

- 1 お金拾い^{かねひろ}…………… (2)
- 2 遠めがね^{とお}…………… (4)
- 3 真昼のゆうれい^{まひる}…………… (6)
- 4 お代わり^か…………… (7)
- 5 七の字^{しち じ}…………… (9)
- 6 釜ぬす人^{かま びと}…………… (10)
- 7 臼を負うて馬に乗る^{うす お うま の}…………… (12)
- 8 狩人^{かりうど}…………… (13)
- 9 なぞ…………… (15)
- 10 猫の名^{ねこ な}…………… (17)
- 11 目をさます^め…………… (18)
- 12 焼き氷^{や ごおり}…………… (20)
- 13 日はどこから暮れる^{ひ く}…………… (21)
- 14 絵に画いた道具^{え えが どうぐ}…………… (23)
- 15 鬼は外^{おに そと}…………… (25)
- 16 鎌を忘れたところ^{かま わす}…………… (26)

- 17 お寺てらの児ちご (27)
- 18 亀かめは万年まんねん (29)
- 19 貧びん乏ぼう神がみ (30)
- 20 猿さるが似にている (31)
- 21 身み投なげ (32)
- 22 借しゃ金っきん取とり (34)
- 23 道どう場じょう破やぶり (36)
- 24 うでじまん (38)
- 25 ゆうれいの命いのち (40)
- 26 たこの計けい略りやく (42)
- 27 火か事じ見み舞まい (44)
- 28 花はな売うり (46)
- 29 嘘うその種たね (48)
- 30 うなぎ (50)
- 31 あま酒ざけ (52)
- 32 雪ゆきの広ひろさ (54)
- 33 身しん長ちようちがい (56)
- 34 まんじゅうこわい (58)
- 35 金かなづち (60)
- 36 オウムの返へん事じ (62)
- 37 食くった食くった (64)

第二章 奇闻怪事

- 1 地^ちの底^{そこ}から (70)
- 2 はえになったお玉^{たま} (72)
- 3 ぬけ首^{くび} (74)
- 4 石^{いし}になった男^{おとこ} (76)
- 5 うちわのような手^て (78)
- 6 人形^{にんぎょう}のかみがのびる (80)
- 7 けんかする石^{いし}のきつね (82)
- 8 若返^{わかがえ}りの水^{みず} (84)
- 9 白^{しろ}いかみの女^{おんな} (86)
- 10 きつね火^び (88)
- 11 消^きえた家^{いえ} (90)
- 12 一丈^{いちじょう}のみみず (92)

第三章 认清自我

- 1 すぐ^{ぜつぼう}に絶^{ぜつぼう}望^{ぼう}してしまう (96)
- 2 人^{ひと}を信^{しん}じられない (98)
- 3 自分^{じぶん}の主^{しゅ}張^{ちやう}が通^{とお}らない (100)
- 4 付^つき合^あいが悪^{わる}い (102)
- 5 しゃべるのが苦^{にがて}手 (104)

- 6 恋愛^{れんあい}ができない…………… (106)
- 7 よく忘れ物^{わすもの}をする…………… (108)
- 8 形式的^{けいしきてき}なことを忌み嫌^{いきら}う…………… (110)
- 9 普通^{ふつう}の人のようにできない…………… (112)
- 10 すぐに焦^{あせ}ってしまう…………… (114)
- 11 困難^{こんなん}なことから逃^にげる…………… (116)
- 12 いつまでも成^{せい}長^{ちよう}しない…………… (118)
- 13 勝ち負^かけに拘^まる…………… (120)
- 14 物のおぼえ^{わる}が悪い…………… (122)
- 15 なんでも人^{ひと}に合^あわせてしまう…………… (124)
- 16 最近^{さいきん}ときめくことがない…………… (126)
- 17 いつも計^{けい}画^{かく}倒^{だお}れ…………… (128)
- 18 ダイエットが^{つづ}続かない…………… (130)
- 19 何^{なに}かを始^{はじ}めるのが怖^{こわ}い…………… (132)
- 20 独^{ひと}り言^{ごと}が多い…………… (134)
- 21 慎^{しん}重^{ちよう}すぎる…………… (136)
- 22 認^{みと}められたい気持^{きも}ちが強^{つよ}い…………… (138)
- 23 言^いい訳^{わけ}が多い…………… (140)
- 24 無駄^{むだ}に時^じ間^{かん}を過^すごしてしまう…………… (142)
- 25 傲^{ごう}慢^{まん}である…………… (144)

- 26 自分じぶんの実じつり力よくを出だし切きれない …… (146)
- 27 自分じぶんがよく分わからない …… (148)
- 28 人ひとに頼たよってしまう …… (150)
- 29 傷きずつきやすい …… (152)
- 30 いくら頑がん張ばっても報むくわれぬ …… (154)
- 31 人ひとと深ふかく付つき合あへない …… (156)
- 32 知しったかぶりをする …… (158)
- 33 怖こわがりである …… (160)
- 34 何なにもかもうまくいかなぬ …… (162)
- 35 目もく標ひょうになかなか到とう達たつできぬ …… (164)
- 36 自分じぶんの決けつ断だんに自じ信しんが持もてない …… (166)
- 37 友ともだちが少すくない …… (168)
- 38 周まわりの目めが気きになる …… (170)
- 39 自分じぶんに甘あまい …… (172)
- 40 頼たのまれると嫌いやと言いえぬ …… (174)
- 41 初しょ心しんを忘わすれてしまう …… (176)
- 42 完かん全ぜん主しゅ義ぎである …… (178)
- 43 心しん配ばい性しょうである …… (180)
- 44 すぐ現げん実じつ逃とう避ひする …… (182)
- 45 見み栄えっぱりである …… (184)

第四章 智慧人生

- 1 今日一日を大切にすること (188)
きょういちにち たいせつ
- 2 成功への道 (190)
せいこう みち
- 3 「時間」は見えないからこそ、大事に使う (193)
じかん み だいじ つか
- 4 後悔しない人生 (195)
こうかい じんせい
- 5 自分を救い出してくれるもの (198)
じぶん すく だ
- 6 泣けるときは、幸せなとき (201)
な しあわ
- 7 「いいこと」が相手に迷惑な場合も (203)
あいて めいわく ばあい
- 8 時間は待ってくれない (206)
じかん ま
- 9 失敗から教えられること (209)
しっばい おし
- 10 不運を祖先のせいにしていないか (213)
ふうん そせん
- 11 自ら負けを認めるときが、本当の負けだ (217)
みずか ま みとほんとう ま
- 12 人を愛するために、自分を愛してみる (221)
ひと あい じぶん あい
- 13 「ノルマ達成」を目標とするな (224)
たっせい もくひょう
- 14 自分に合わないものを身につけていませんか (229)
じぶん あ み
- 15 幸せへの道 (234)
しあわ みち

第一章 开心一刻

1 お金拾い

「お金を拾うのはいいもんじゃ。」

「おれはまだ拾ったことがないんだが、そんなにいいものかい？」

ともだちからそれを聞いた男、家にもどって、そんなにうれし
いならやってみようと思い、自分のお金をほうり投げました。

「あれ、どこへ行っちゃった？」

お金はころころ転がって、見えなくなっていました。

「あの金がないと困るんだよ。ありゃりゃ、ここにもない…こっ
ちにもない。」

半時も探して、ようやくお金を見つけました。

「ああ、あった！よかった。ほんとにお金を拾うというのはいい
もんだ。」

难词注解

ほうり投げる：向远处抛出

ころころ転がる：叽里咕噜地滚

译文赏析

拾 金

“捡到钱真是好啊。”

“我还没有捡到过钱呢，感觉真的那么好吗？”

有一个人从朋友那里听说此事，回家以后一直想：如果捡到钱真让人那么快活的话，就试一下好了。于是把自己的钱往远处抛

出去。

“哎哟，扔到哪里去了啊？”

钱叽里咕噜地滚走不见了。

“没了那钱可不行啊。哎呀哎呀，这里也没有……这边也没有。”

找了一个小时，好不容易才找回了钱。

“啊，找到了！太好了！原来捡到钱的感觉真的很好啊。”

2 遠とおめがね

「おい、熊くまさん、何なにやってるんだい？」と、長助ちようすけさんが聞きま
した。

「めずらしい遠眼鏡とおめがねを貸かしてもらってね。こいつは遠とおいものが、
そばにあるようによく見えるもんだから、あちこちながめていた
のさ。」

「それにしても、泳およぐような手つきてを、さっきからしていたじゃ
ないか。もうじき祭りだから、踊おどりのけいこでもしているのかと
思おもったら、そうでもないらしい…」

「長ちようさん、おまえものぞいてごらんよ、あの橋はしのところ。金かねが
落おちてるんだよ。それを拾ひろおうと思おもって、さっきから手てを伸のばし
ているんだが、どうしても拾ひろえねえ。」

难词注解

遠眼鏡とおめがね：望远镜

手つきて：手势

おどりのけいこ：舞蹈练习

手を伸てばすの：伸手

译文赏析

望 远 镜

“喂，阿熊，你在做什么？”长助问。

“我借来了很罕见的望远镜。这东西能把远处的东西看得清清楚楚，好像就在旁边一样。所以我在到处看呢。”

“原来如此啊。我刚才看你打的手势好像在游泳呢。本来以为快过节了你在练习舞蹈，看着又不像……”

“阿长，你也来看看，看那座桥的地方。掉了一块钱，我想把它捡起来，可是怎么也捡不着。”

3 真昼のゆうれい

つま な ま ひる おとこ ひとり ひるめし た
妻を亡くした男が、一人で昼飯を食べていると、ヒュードロドロと死んだ妻が現れました。

「やや、おまえはゆうれい！何かおれにうらみでもあって出てきたか。」

「いいえ、なつかしくて出てきたのです。」

「それにしても今は真っ昼間。ゆうれいは夜、出て来るものではないのかね。」

すると、ゆうれいが答えました。

「だってよるは怖いんですもの。」

难词注解

ま ひる ま
真っ昼間：白昼，大白天

ヒュードロドロ：（幽灵上场时的鼓声）咚咚

译文赏析

大白天的鬼

有个丧妻的男人正在一个人吃午饭，死去的妻子幽然出现在面前。

“呀，你是鬼啊。对我有何怨恨而现身啊？”

“不是。我是因为想念你才出来的。”

“即便如此，现在是大白天，鬼不应该晚上才出来的吗？”

亡妻的鬼魂回答说：“可是晚上太恐怖了啊。”

4 お代わり

「どうも腹がすきました。ご無心ながら、飯をご馳走していただきとうございます。」

「お安いご用です。さあさあ、おあがり下さいませ。」

お膳立てをして、飯びつを開けてみますと、やっとお椀にいっぱいほどありましたので、それを盛って出しました。

客はそれをサラサラッと、食べてしまいました。奥さんはいつまでも、「どうぞ、お代わりを…」と申しません。

そこで客は、お椀の中を見ながら、「このお椀は、なかなかいい道具でございますなあ。」と言いますと、奥さんは飯びつの中を、客に見せながら、「はい、この飯びつといっしょに、買いました。」

难词注解

お膳立て：备膳、准备饭菜

飯びつを開ける：打开饭桶

译文赏析

再来一碗

“肚子好像有点饿了。真不好意思，想向您讨口饭吃。”

“这好办。来来，快进来吧。”

备好菜后，女主人揭开饭桶一瞧，勉强还够满满一碗饭。于是就盛好饭端了出来。

客人“刷刷”地把饭吃完了。可是，女主人始终没开口说“来，再给

你添一碗”这样的话。

最后，客人瞅着手中的碗说了一句“这碗做得真好啊”，接着，女主人一边掀开饭桶给客人看，一边说道：“嗯，和这只饭桶一起买的。”

5 七の字

「お前にお金を一分やるからな、七の字を書いてごらん。」

「そんなことは、何でもないさ。書いて見せよう。」

と言って、筆を取ってまず一を引き、つぎにたてに一を引いて、
左の方へスーっとまげました。

「これこれ、七という字は、しりを右へまげるもんだ。」

「ばかあ言うな、裏から見るといい。」

难词注解

たて：竖，纵

しり：屁股，底部，末尾

裏から見ると：从反面看，反过来看

译文赏析

写“七”字

甲说：“我给你一分钱，你给我写个‘七’字看看。”

乙说：“这种事，小菜一碟。我写给你看。”

说完，乙拿起一支毛笔先画了一横，跟着又画了一竖，再向左轻轻地勾了一笔。

甲叹道：“这，这……‘七’这个字，尾巴应该朝右！”

乙回道：“你说什么傻话呢。你把它反过来看不就行了嘛。”

6 釜ぬす人

ある寝坊な豆腐屋の家に、ぬす人がはいました。道具のいは
残らずぬすまれ、大釜一つになってしまいました。

「こいつは、困ったもんだ。これではどうにもならんわい。」

と、その晩は釜の中にはいって、

「この中におれば、釜をぬすみに来ても、目がさめるだろう。」

と言って、安心をして寝ました。

ところが、またぬす人がやって来て、こんどはその大釜をかつ
ぎ出しましたが、野原のまん中まで来た時、中で寝返りをうった
音におどろいて、ぬす人は釜をおいたまま、逃げ出してしまいま
した。

豆腐屋は朝になって、釜から出てきましたが、あたりの野原を
眺めると、びっくりして、

「しまった！これは家をぬすまれた。」

难词注解

目がさめる：醒来

寝返りを打つ：翻身

译文赏析

偷锅人

嗜睡的豆腐作坊佬家里遭贼了，器具类被一扫而光，作坊里只剩下一口大锅。

“这可怎么办好呢？……有了，这样就没事了。”夜晚，豆腐作坊佬

钻进了锅里，“只要躺在里面，要是小偷来的话，我就醒了。”于是他安心地睡着了。

然而小偷又来了，这回他扛走了大锅，走到一块大草地中央时，惊觉锅中有翻身声，放下锅就逃走了。

早上，豆腐作坊佬爬出锅子一看四周，大吃一惊道：“糟了，房子被偷走了！”

7 臼を負うて馬に乗る

むかし、むかし、ある時のこと、吉四六さんが馬に乗って、
帰ってきました。

しかし、馬の様子を見ると、馬はどうもたいへんに疲れはてて
いるようなのです。そこで吉四六さんは、さっそく、「うん、これ
は馬も重くて、疲れてるようだで…よしよし、ではこうしてやん
べ。」と言って、さっそく馬から石臼を降ろして、それを今度は自
分で背負って、馬に乗ると、「これで馬も、少しは楽になったべ
な。」と言いながら、かえっていきました。

难词注解

石臼を降ろす：卸下石臼

译文赏析

背臼骑马

很久以前，一天吉四六骑着马回来了。

但是一瞧那马，就知道它累得不成样子了。于是吉四六说道：“嗯，肯定是太重了，马才这么累的……有了，这样办吧。”他立刻把石臼从马背上卸了下来，背在自己身上，然后骑上马，说：“这下，马应该会轻松些吧。”于是就回家了。

晨读夜诵 * 每天读一点 日语短文精华

- * 充分利用零碎时间，每天十分钟，零负担提升日语能力。
- * 选文短小，日汉对照，语言浅显，循序渐进培养阅读习惯。
- * 全书标注假名，提供生词注解，愉快记单词，轻松读短文。



☺温馨提醒

本书附赠字帖为PDF格式文件
下载后，请用A4纸张打印

超值赠送
免费下载

登陆出版社官方网站：<http://press.ecust.edu.cn>
搜索本书 免费下载三体习字帖

ISBN 978-7-5628-4318-4



9 787562 843184 >

定价：26.80元

附赠沪江学习卡
及日文三体习字帖

